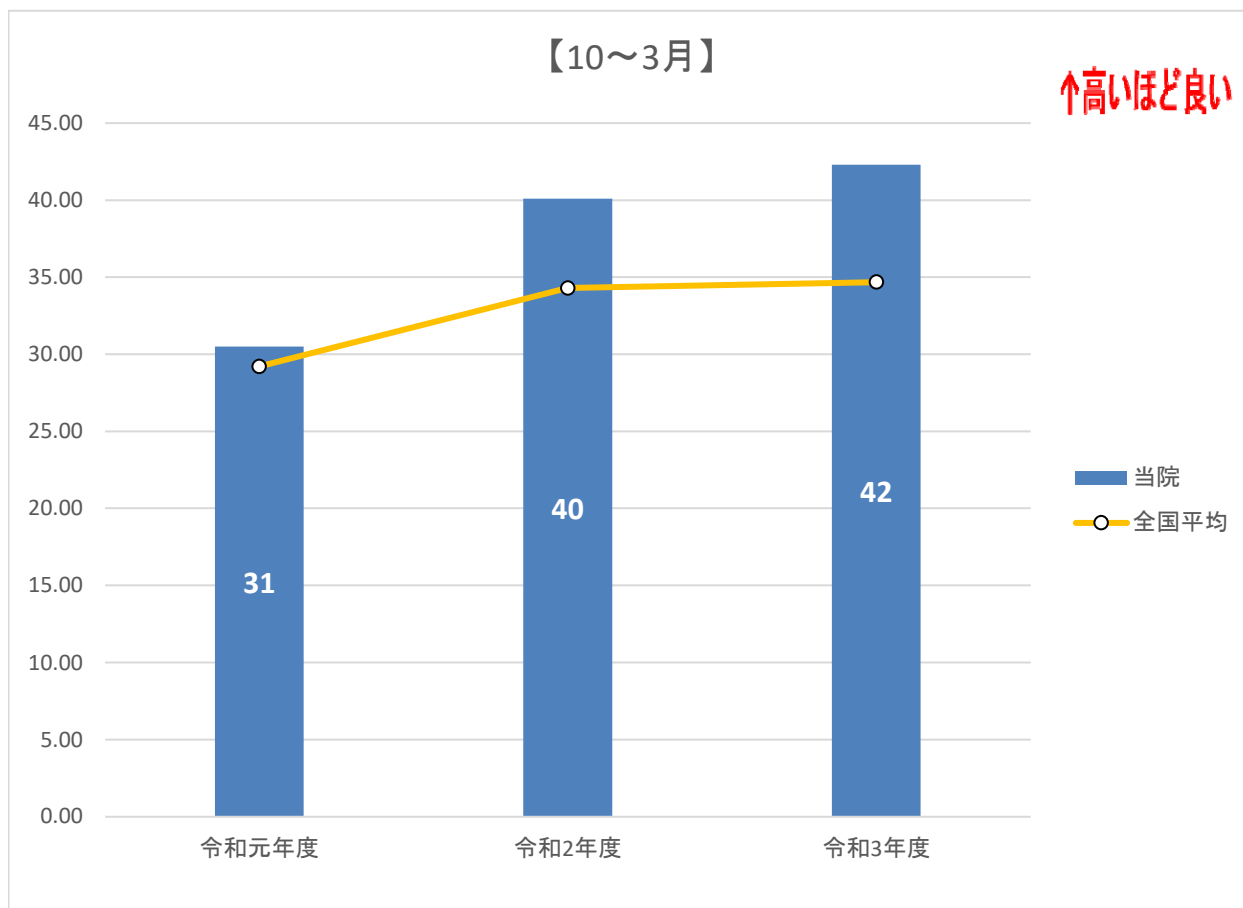


## 一般病棟の重症度、医療・看護必要度

### 解説

急性期の入院医療における患者の状態に応じた医療及び看護の提供量を反映する指標になります。重症患者の割合が高いことは、急性期医療において、より医療ニーズ(手術、処置等)や手厚い看護(看護の提供量)の必要性が高い患者を多く受け入れていることを表します。つまり、この指標が高い医療機関は急性期医療に貢献していると考えられます。ただし、診療科の構成やICUの病床数等にも影響を受けやすいため、目安の一つとして捕らえる必要があります。



### 【10～3月】

(単位: %)	当院	全国平均
令和元年度	30.50	29.21
令和2年度	40.10	34.29
令和3年度	42.30	34.69

### 項目定義

一般病棟の重症度、医療・看護必要度です。

以下の式で算出します。

$(\text{該当患者延数}) \div (\text{一般病棟在院患者延数})$

なお、平成30年度診療報酬改定より重症度、医療・看護必要度ⅠとⅡに評価方法が分されました。